



# WARV-2

WiMAX2+ VPN Router



## 取扱説明書/Operating Manual

2015/5/14 第 1.0 版

|                                 |             |
|---------------------------------|-------------|
| <b>1 はじめに</b>                   | <b>1-1</b>  |
| 1-1 本書の表記に関して                   | 1-4         |
| <b>2 WARV-2 の準備</b>             | <b>2-8</b>  |
| 2-1 付属品の確認                      | 2-8         |
| 2-2 各部の名称                       | 2-9         |
| 2-2-1 前面                        | 2-9         |
| 2-2-2 背面(コネクタ部)                 | 2-9         |
| <b>3 WARV-2 の設定</b>             | <b>3-10</b> |
| 3-1 パソコンの準備                     | 3-10        |
| 3-2 Web 設定画面へのログイン              | 3-11        |
| 3-3 状態表示                        | 3-12        |
| 3-3-1 システム                      | 3-13        |
| 3-3-2 WAN (WiMAX/WiMAX2+)       | 3-13        |
| 3-3-3 LAN1                      | 3-13        |
| 3-3-4 LAN2                      | 3-14        |
| 3-3-5 IPsec                     | 3-14        |
| <b>4 ネットワーク設定</b>               | <b>4-15</b> |
| 4-1 WAN 設定                      | 4-15        |
| 4-2 LAN 設定                      | 4-16        |
| 4-3 アドレス変換設定                    | 4-18        |
| 4-4 ファイアウォール設定                  | 4-20        |
| 4-4-1 受信パケットのデフォルト設定            | 4-21        |
| 4-4-2 通過パケットのデフォルト設定            | 4-21        |
| 4-5 IPsec 設定                    | 4-22        |
| <b>5 ルート設定</b>                  | <b>5-25</b> |
| <b>6 監視</b>                     | <b>6-26</b> |
| 6-1 PING 監視設定                   | 6-26        |
| <b>7 管理</b>                     | <b>7-28</b> |
| 7-1 プロセス監視設定                    | 7-28        |
| 7-2 NTP・定期コマンド実行設定              | 7-30        |
| 7-3 ログ機能設定                      | 7-31        |
| 7-4 ファームウェアバージョンアップ・ファイル名指定     | 7-32        |
| 7-5 ファームウェアバージョンアップ・ダウンロードサイト指定 | 7-33        |
| 7-6 コンフィグ保存・アップロード              | 7-35        |
| 7-7 ユーザ・パスワード変更                 | 7-36        |

|                        |                |
|------------------------|----------------|
| 7-8 再起動 .....          | 7 - 37         |
| 7-9 出荷時設定に戻す .....     | 7 - 38         |
| <b>8 付録 1 .....</b>    | <b>8 - 39</b>  |
| 8-1 WARV-2 スペック .....  | 8 - 39         |
| 8-2 WiMAX2+モジュール ..... | 8 - 40         |
| <b>9 その他 .....</b>     | <b>9 - 41</b>  |
| <b>10 変更履歴 .....</b>   | <b>10 - 46</b> |

# 1 はじめに

---

この度は WARV-2 をご利用いただき、まことにありがとうございます。

WARV-2 は、UQ コミュニケーションズ株式会社の提供によるモバイル WiMAX2+サービスおよび UQ モバイル WiMAX2+網を利用した MVNO(仮想移動体通信事業者)に接続して通信を行う WiMAX2+ルータです。本書では本製品の設置、接続の仕方から、さまざまな機能における操作・設定方法、本製品を使いこなすために必要な事項を説明しています。本製品をご使用前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

## ■マニュアル構成

本製品のマニュアルは下記のように構成されております。ご利用の目的に合わせてお読みください。

### クイックマニュアル

基本設定を簡単かつわかりやすく説明しています。

### 取扱い説明書(本書)

本製品の基本機能についてのマニュアルです。

■ WiMAX2+通信をご利用いただくにあたって

- 本製品は、技術基準適合証明を受けています。
- WiMAX の通信速度、最大下り 40Mbps/ 上り 15.4Mbps(規格値)は IEEE802.16e-2005(Mobile WiMAX)の規格で定められたデータ転送速度の最大値であり、実際のデータ転送速度を保証するものではありません。同様に、WiMAX2+の通信速度、最大下り 110Mbps/ 上り 10Mbps(規格値)は規格で定められたデータ転送速度の最大値であり、実際のデータ転送速度を保証するものではありません。
- 本製品は IEEE802.16e-2005(Mobile WiMAX)および WiMAX Release 2.1 (WiMAX Advanced)準拠製品であり、IEEE802.16e-2004(固定 WiMAX)との接続性は保証の限りではありません。
- 本製品は日本国内でのご利用を前提にしています。海外に持ち出しての使用はできません。
- 本製品はサービスエリア内でのみご使用になれます。
- サービスエリア内でも電波が伝わりにくい場所(屋内、車内、地下、トンネル内、ビルの陰、山間部など)では、通信できない可能性や通信速度が低下する場合があります。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。あらかじめご了承ください。
- WiMAX および WiMAX2+の電波状態や伝送速度は、建物や家具、移動速度などの周辺環境により大きく変動します。
- 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることとなりますが、電波状態が良いところでも通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品は、高度な認証・暗号化技術を使った安全な通信が可能ですが、電波を利用する以上、第三者に通信を傍受される可能性があります。お客様ご自身の判断と責任において、お使いのパソコンのセキュリティに関する設定を行うことをお勧めします。
- 本製品は、UQ WiMAX および WiMAX2+ネットワーク環境でご使用になれますが、本製品の品質等に関して UQ コミュニケーションズ株式会社が何ら保証するものではありません。

WARV-2 は Artiza Networks, Inc.の登録商標です。

Windows、Windows Vista、Windows Live は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Vista<sup>®</sup>は、Windows Vista Home<sup>®</sup> Basic、Windows Vista<sup>®</sup> Home Premium、Windows Vista<sup>®</sup> Business および Windows<sup>®</sup> Vista Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット(x86)版の略です。

※本製品の Windows Vista<sup>®</sup>のサポートは、Windows Vista<sup>®</sup>がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソコン、またはメーカーが Windows Vista<sup>®</sup>の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしていません。

Windows<sup>®</sup>7 は、Windows<sup>®</sup>7 Starter、Windows<sup>®</sup>7 Home Premium、Windows<sup>®</sup>7 Professional、Windows<sup>®</sup>7 Enterprise および Windows<sup>®</sup>7 Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット(x86)版または 64 ビット(x64)版の略です。

※本製品の Windows<sup>®</sup>7 のサポートは、Windows<sup>®</sup>7 がプリインストールされているパソコン、またはメーカーが Windows<sup>®</sup>7 の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしていません。

Windows<sup>®</sup>8 は、Windows<sup>®</sup>8、Windows<sup>®</sup>8 Pro、Windows<sup>®</sup>8 Enterprise の各日本語版かつ 32 ビット(x86)版または 64 ビット(x64)版の略です。

※本製品の Windows<sup>®</sup>8 のサポートは、Windows<sup>®</sup>8 がプリインストールされているパソコン、またはメーカーが Windows<sup>®</sup>8 の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしていません。

Mac、Macintosh、AirMac、iPad、iPod、iPod touch、iPhone は、米国および他の国々で登録された Apple, inc.の登録商標または商標です。

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

WiMAX Forum は WiMAX Forum の登録商標です。WiMAX、WiMAX Forum ロゴ、WiMAX Forum Certified、および WiMAX Forum Certified ロゴは WiMAX Forum の商標です。

その他すべての商標は、それぞれの権利者の所有物です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

アルチザネットワークスの許可なく取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

## 1 - 1 本書の表記に関して

本製品のご利用には別途 WiMAX2+サービス事業者との回線契約が必要となります。

本製品は、UQ WiMAX および WiMAX2+ネットワーク環境でご使用になれますが、本製品の品質等に関して UQ コミュニケーションズ株式会社が何ら保証するものではありません。

## 安全にお使いいただくために

本製品のユーザであるあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しています。

本製品および、付属する AC アダプタ、ケーブルについての内容を記載しています。

### **！警告**

この警告を無視して誤った設置、取り扱い、保守サービスをする、人が死亡するまたは重傷を負う恐れがあることを示しています。

### **！注意**

この注意を無視して誤った設置、取り扱い、保守サービスをする、軽度の人的損害、またはデータの遺失等を含む物的損害を受ける恐れがあることを示しています。

**これらの警告や注意事項をよくご理解になり、正しくお使い下さい。**

万一これらを無視したことにより人的あるいは物的損害が発生しても、弊社は一切その責任を負いかねますのでご了承ください。



## ご注意ください

## 設置場所について

### **！警告**

#### **火災・爆発事故を防ぐために**

- 本製品は可燃性のガスや蒸気のある場所には設置しないでください。
- 本製品は発熱体（PC や交換機等）の上には設置しないでください。
- 本製品の上面にものを置いたりしないでください。
- 火のそば、直射日光のあたる場所、炎天下の車内などの高温になる場所で使用、保管、放置しないでください。

### **！注意**

#### **物的損害を防ぐために**

- 本製品は水平で安定した場所でないところには設置しないでください。
- 強い磁界が発生するところには設置しないでください。
- 静電気が発生するところには設置しないでください。
- 振動が発生するところには設置しないでください。
- 直射日光があたるところには設置しないでください。
- 火気周辺、または熱気のこもるところには設置しないでください。
- 漏電の危険があるところには設置しないでください。
- 漏水の危険があるところには設置しないでください。
- 湿気の多いところには設置しないでください。
- ほこりの多いところには設置しないでください。
- 自動車内で使用した場合、車種によっては、車載電子機器に影響を与える可能性があります。安全走行を損なう恐れがありますので、影響が出た場合はすぐに使用を中止してください。

## 取り扱いについて

### 感電事故を防ぐために

- 水分や湿気の多い場所では、本製品を使用しないでください。
- 濡れた手で本製品に触らないでください。
- 雷が鳴り出したら、すぐに本製品の電源を切ってください。
- 分解、改造をしないでください。

### 不測の事故を防ぐために

- 本製品に損傷や不具合等の異常が見つかった場合は、直ちに使用を中止し、弊社カスタマサポートにご連絡ください。
- 本製品の分解や改造や修理をしないでください。
- 小さなお子様が本製品・AC アダプタ・ケーブルに触れられないようにしてください。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- AC アダプタを傷つけたり、加工、過熱、修復したりしないでください。
- AC アダプタを壁やラックなどの間に挟み込んだりしないでください。
- 重いものをのせたり、ひっぱったりしないでください。
- 熱器具に近づけたり、過熱したりしないでください。
- AC アダプタを接続したまま、機器を移動しないでください。
- AC 100V (50/60Hz) 以外の AC コンセントには、絶対にプラグを差し込まないでください。
- 本製品は日本国内でのみ使用することを前提に設計・製造しております。日本国外では使用しないでください。
- 航空機内や病院内など無線機器の使用が制限されている場所では、本製品の電源を切ってください。
- 満員電車内などの混雑した場所では、本製品の電源を切ってください。
- 植込み型ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方が周囲に居る場合は本製品を使用しないでください。電波により、植込み型ペースメーカーおよび植込み型除細動器の動作に影響を与える場合があります。
- AC アダプタをコンセントに差し込むときは、金属類に触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
- AC アダプタ(充電器含む)のコードの上に重いものをのせたりしないでください。
- AC アダプタ(充電器含む)のコードや USB ケーブルが傷んだら使用しないでください。
- 風呂場など、水分や湿気の多い場所では、本製品を使用しないでください。

### !警告

### 火傷・けが・事故を防ぐために

- AC アダプタは、AC コンセントに完全に差し込んでください。
- AC アダプタは必ず本製品付属のものをお使い下さい。

### !注意

### 物的損害を防ぐために

- 静電気による破損を防ぐために、本製品に触れる前に、身体の静電気を取り除くようにしてください。
- 本製品を破棄するときは、地方自治の条例に従ってください。

## 保守サービスについて

### !警告

- 事前の書面による弊社の許可がない限り、本製品に対するいかなる変更または代替品の使用も行わないでください。
- 本製品の修理サービスは弊社でのみ行います。修理が必要な場合は、その旨を事前にご連絡いただいた上で、必ず製品を弊社にご返送ください。
- 本製品を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体の条例に従って行ってください。



## 2 WARV-2 の準備

---

### 2 - 1 付属品の確認

保証書も含めて付属品は大切に保管してください。

- WARV-2 本体 1 台



- AC アダプタ 1 個
- AC アダプタケーブル 1 個
- LAN ケーブル(1m) 1 本
- MicroSIM アダプタ 1 個
- MicroSIM アダプタ用シール 2 枚
- WARV-2 本体固定用金具 2 枚
- ネジ 4 個
- WiMAX2+アンテナ 2 本
- 安全のために必ずお読みください(兼保証書) 1 枚
- WiMAX2+ VPN Router クイックマニュアル 1 枚

## 2-2 各部の名称

### 2-2-1 前面



図 2-1 前面

表 2-1 前面

|       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| DC IN | AC アダプタ用コネクタです。付属の AC アダプタを接続します。 |
| 緑 LED | 電源が ON のときに点灯します。                 |
| 赤 LED | 内部データディスクアクセス中に点滅します。             |

### 2-2-2 背面(コネクタ部)



図 2-2 背面

表 2-2 背面

|           |                         |
|-----------|-------------------------|
| ANT 1/2   | 付属の WiMAX2+用アンテナを接続します。 |
| USB       | 弊社指定の機器以外接続しないでください。    |
| LAN1/LAN2 | 有線 LAN(Ethernet)のポートです。 |
| SIMCARD   | 弊社指定の機器以外接続しないでください。    |
| COM1      | 弊社指定の機器以外接続しないでください。    |

## 3 WARV-2 の設定

---

### 3 - 1 パソコンの準備

- パソコンの設定について

推奨動作環境

お使いのパソコンが本製品をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

- ・下記のいずれかの OS が正しく動作すること

Windows Vista®の日本語版かつ 32 ビット(x86)版

Windows®7 の日本語版かつ 32 ビット(x86)版または 64 ビット(x64)版

Windows®8 の日本語版かつ 32 ビット(x86)版または 64 ビット(x64)版

- ・下記のいずれかのブラウザがインストールされ正常動作すること。

Internet Explorer® v10 以上のバージョン

Firefox® v33 以上のバージョン

Google Chrome® v38 以上のバージョン

その他ソフトウェアなどの動作環境はお客様の使用環境(プロバイダやソフトウェアなど)によっても変わりますので  
詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問合せください。

## 3-2 Web 設定画面へのログイン

※Web 設定画面では、各種設定項目を変更できます。

- ①パソコンと本製品の LAN1 を付属の LAN ケーブルで接続してください。
- ②パソコンには DHCP で IP アドレスが割り当てられます。
- ③パソコンで Web ブラウザを起動します。
- ④アドレスバーに「<http://192.168.0.254>」または「<https://192.168.0.254>」と入力し[Enter]キーを押します。  
※アドレスは工場出荷時の値です。
- ⑤ログインダイアログが表示されたら以下のユーザ名とパスワードを入力し、[OK]ボタンを押します。

**ユーザ名 : artiza**

**パスワード : networks**

※ユーザ名、パスワードは工場出荷時の値です。

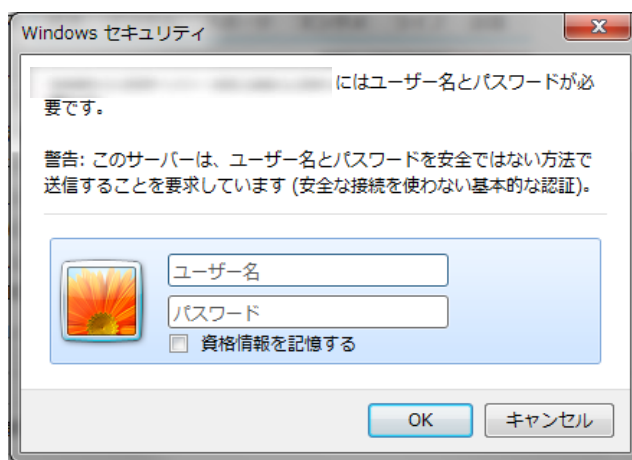


図 3-1 ログインダイアログ

- ⑥本製品の WEB 設定画面が表示されればログイン完了です。



図 3-2 WEB 設定画面

## 3-3 状態表示

WARV-2 の状態を表示します。

| 状態表示                                                                                                    |                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 現在の動作状態を表示します。                                                                                          |                   |
| システム                                                                                                    |                   |
| 起動時間                                                                                                    | 0day:11h18m48s    |
| ファームウェアバージョン                                                                                            | v2.0.0-76         |
| WAN (WiMAX/WiMAX2+)                                                                                     |                   |
| IPアドレス                                                                                                  |                   |
| DNSサーバ1                                                                                                 | 183.183.1.39      |
| DNSサーバ2                                                                                                 | 183.183.2.39      |
| MACアドレス                                                                                                 | 00:1D:93:71:44:EE |
| IMEI                                                                                                    | 352898060059111   |
| IMSI                                                                                                    | 440500734545615   |
| RSSI                                                                                                    | - dBm             |
| CINR                                                                                                    | - dB              |
| RSRP                                                                                                    | -106 dBm          |
| RSRQ                                                                                                    | -13.0 dB          |
| Version                                                                                                 | 1.0.9.1           |
| LAN1                                                                                                    |                   |
| IPアドレス                                                                                                  | 192.168.242.210   |
| プレフィックス長                                                                                                | 24                |
| MACアドレス                                                                                                 | d0:4c:c1:00:2d:51 |
| リンク状態                                                                                                   | LinkUp            |
| LAN2                                                                                                    |                   |
| IPアドレス                                                                                                  | 172.16.7.42       |
| プレフィックス長                                                                                                | 16                |
| MACアドレス                                                                                                 | d0:4c:c1:00:2d:52 |
| リンク状態                                                                                                   | LinkUp            |
| IPSec                                                                                                   |                   |
| Security Associations (1 up, 0 connecting):                                                             |                   |
| tunnel1[1]: ESTABLISHED 5 hours ago, 192.168.100.20[192.168.242.210]...211.129.101.217[211.129.101.217] |                   |
| tunnel1{1}: INSTALLED, TRANSPORT, ESP in UDP SPIs: c990a83a_i 6e077f2d_o                                |                   |
| tunnel1{1}: 192.168.100.20/32[gre] == 211.129.101.217/32[gre]                                           |                   |

図 3-3 状態表示画面

### 3-3-1 システム

システムの状態を表示します。

表 3-1 に、各表示項目の説明を記載します。

表 3-1 システム表示項目

| 表示項目         | 説明               |
|--------------|------------------|
| 起動時間         | システムが起動してからの経過時間 |
| ファームウェアバージョン | ファームウェアのバージョン    |

### 3-3-2 WAN (WiMAX/WiMAX2+)

WAN インタフェース(WiMAX/WiMAX2+)の状態を表示します。

表 3-2 に、各表示項目の説明を記載します。

表 3-2 WAN(WiMAX/WiMAX2+)表示項目

| 表示項目      | 説明                             |
|-----------|--------------------------------|
| IP アドレス   | IP アドレス                        |
| DNS サーバ 1 | プライマリ DNS サーバアドレス              |
| DNS サーバ 2 | セカンダリ DNS サーバアドレス              |
| MAC アドレス  | WiMAX インタフェース MAC アドレス         |
| IMEI      | WiMAX IMEI 番号                  |
| IMSI      | WiMAX IMSI 番号                  |
| RSSI      | 受信信号強度 (WiMAX 接続時のみ表示)         |
| CINR      | 搬送波電力対干渉+雑音電力比 (WiMAX 接続時のみ表示) |
| RSRP      | 受信信号強度 (WiMAX2+接続時のみ表示)        |
| RSRQ      | 受信信号品質 (WiMAX2+接続時のみ表示)        |
| Version   | WiMAX ファームウェアのバージョン情報          |

### 3-3-3 LAN1

LAN1 インタフェースの状態を表示します。

表 3-3 に、各表示項目の説明を記載します。

表 3-3 LAN1(ETH0)表示項目

| 表示項目     | 説明                  |
|----------|---------------------|
| IP アドレス  | IP アドレス             |
| プレフィックス長 | ネットワークアドレスのプレフィックス長 |
| MAC アドレス | MAC アドレス            |
| リンク状態    | LAN1 のリンク状態         |

### 3-3-4 LAN2

LAN2 インタフェースの状態を表示します。

表 3-4 に、各表示項目の説明を記載します。

**表 3-4 LAN2(ETH1)表示項目**

| 表示項目     | 説明                  |
|----------|---------------------|
| IP アドレス  | IP アドレス             |
| プレフィックス長 | ネットワークアドレスのプレフィックス長 |
| MAC アドレス | MAC アドレス            |
| リンク状態    | LAN1 のリンク状態         |

### 3-3-5 IPsec

IPsec の状態を表示します。

表 3-5 に、各表示項目の説明を記載します。

**表 3-5 IPsec 表示項目**

| 表示項目     | 説明        |
|----------|-----------|
| IPsec 状態 | IPsec の状態 |

# 4 ネットワーク設定

## 4 - 1 WAN 設定

WAN インタフェースの設定を行います。

**WAN設定**

WANインタフェースの設定を行います。

| APNプロフィール  |                      |
|------------|----------------------|
| プロフィール名    | Internet             |
| APN(接続先情報) | apn.xxxxx.ne.jp      |
| ユーザ名       | user@apn.xxxxx.ne.jp |
| パスワード      | ●●●●●●●●             |
| IPタイプ      | IPv4                 |
| 認証タイプ      | CHAP ▼               |

設定反映

図 4-1 ネットワーク設定-WAN 設定画面

表 4-1 に、各設定項目の説明を記載します。

表 4-1 ネットワーク設定-WAN 設定項目

| 設定項目       | 説明                             |
|------------|--------------------------------|
| プロフィール名    | プロフィール設定に付ける名称です。任意の名称を設定できます。 |
| APN(接続先情報) | 契約プロバイダが指定する内容を設定ください。         |
| ユーザ名       | 契約プロバイダが指定する内容を設定ください。         |
| パスワード      | 契約プロバイダが指定する内容を設定ください。         |
| IP タイプ     | 契約プロバイダが指定する内容を設定ください。         |
| 認証タイプ      | 契約プロバイダが指定する内容を設定ください。         |

## 4-2 LAN 設定

LAN インタフェースの設定を行います。

### LAN設定

LANインタフェースの設定を行います。  
192.168.100.0/24のアドレスはシステム内部で予約されていますので、設定しないでください。

---

**[ LAN 1 ]**

IPアドレス: 192.168.0.254

プレフィックス長: /24 (255.255.255.0) ▼

DHCP: Server ▼

割当て開始アドレス: 192.168.0.1

DHCPサーバ IPアドレス範囲

☒ 割当て個数: 8

☐ 割当て終了アドレス:

クライアント表示

**[ LAN 2 ]**

IPアドレス: 192.168.1.254

プレフィックス長: /24 (255.255.255.0) ▼

DHCP: Server ▼

割当て開始アドレス: 192.168.0.1

DHCPサーバ IPアドレス範囲

☒ 割当て個数: 8

☐ 割当て終了アドレス:

クライアント表示

**[ Loopback0 ]**

IPアドレス: 1.1.1.1

プレフィックス長: /8 (255.0.0.0) ▼

設定保存

図 4-2 ネットワーク設定-LAN 設定画面

表 4-2 に、各設定項目の説明を記載します。設定項目は、LAN1、LAN2、Loopback0 で共通です。ただし、Loopback0 には、DHCP および DHCP サーバ IP アドレス範囲の設定はありません。Loopback0 は、物理ポートと対応していない仮想的なインタフェースです。

**表 4-2 ネットワーク設定-LAN 設定項目**

| 設定項目               | 説明                                                                                                                                                                                              |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| IP アドレス            | IP アドレスを設定します。<br>0.0.0.0 を設定すると LAN インタフェースから WEB 画面にアクセスできなくなります。<br><b>192.168.100.0/24 に含まれる IP アドレスは内部処理用に予約されており設定できません。本アドレスを設定する必要がある場合は、製品サポートに問い合わせください。</b>                          |
| プレフィックス長           | ネットワークアドレスのプレフィックス長を設定します。                                                                                                                                                                      |
| DHCP               | DHCP モードを設定します。<br>「Disable」：DHCP を使用しません。直接本製品の IP アドレスを設定したい場合に選択してください。<br>「Client」：DHCP クライアントとして動作します。<br>DHCP サーバから IP アドレスを取得する場合に選択してください。<br>「Server」：DHCP サーバとして動作します。                |
| DHCP サーバ IP アドレス範囲 | DHCP で「Server」を選択した場合に設定します。<br>「割当て開始アドレス」：本製品が割り当てる IP アドレスの最初のアドレス<br>「割 当 て 個 数」：IP アドレスを割り当てる数<br>「割当て終了アドレス」：本製品が割り当てる IP アドレスの最後のアドレス<br>「クライアント表示」：本製品が IP アドレスを割り当てているクライアントの情報を表示します。 |

## 4-3 アドレス変換設定

アドレス変換設定を行います。

### アドレス変換設定

アドレス変換設定を行います。

アドレス変換設定一覧：

| 入インタフェース | 出インタフェース | プロトコル | 変換元アドレス | 変換元ポート | 変換先アドレス     | 変換先ポート | 操作                                                                   |
|----------|----------|-------|---------|--------|-------------|--------|----------------------------------------------------------------------|
| WiMAX    | LAN1     | UDP   |         | 4000   | 192.168.0.2 | 4000   | <input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="取消し"/> |

DMZ：

DMZホストIPアドレス：

図 4-3 ネットワーク設定-アドレス変換設定画面

表 4-3 に、各設定項目の説明を記載します。

**表 4-3 ネットワーク設定-アドレス変換設定項目**

| 設定項目            | 説明                                                                                                                                            |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 入インタフェース        | アドレス変換を行う対象の入側インタフェースです。<br>※「 <b>WiMAX</b> 」のみ設定可能です。<br>「WiMAX」：<br>WiMAX で受信したパケットに対してアドレス変換を行います。                                         |
| 出インタフェース        | アドレス変換を行う対象の出側インタフェースを設定します。<br>「LAN1」：<br>LAN1 で送信するパケットに対してアドレス変換を行います。<br>「LAN2」：<br>LAN2 で送信するパケットに対してアドレス変換を行います。                        |
| プロトコル           | アドレス変換を行うプロトコルを設定します。<br>「 TCP 」：TCP プロトコルに対してアドレス変換を行います。<br>「 UDP 」：UDP プロトコルに対してアドレス変換を行います。<br>「TCP+UDP」：TCP、UDP 両方のプロトコルに対してアドレス変換を行います。 |
| 変換元アドレス         | アドレス変換を行う変換元の IP アドレスを設定します。<br>※ <b>本バージョンでは設定不可（任意アドレス）となります。</b>                                                                           |
| 変換元ポート          | アドレス変換を行う変換元のポートを設定します。“:”(コロン)を使用して範囲指定が可能です。<br>“1:65535”を設定すると任意のポートとなります。                                                                 |
| 変換先アドレス         | アドレス変換を行う変換先の IP アドレスを設定します。                                                                                                                  |
| 変換先ポート          | アドレス変換を行う変換先のポートを設定します。“-”(ハイフン)を使用して範囲指定が可能です。指定可能なポートは、1～65535 です。                                                                          |
| 操作              | 「適用」を押下すると設定を適用します。<br>「取消し」を押下すると設定を削除します。                                                                                                   |
| DMZ ホスト IP アドレス | DMZ ホストの IP アドレスを設定します。<br>DMZ ホスト機能とは、インターネット側から発信されたすべての IP フレームを、LAN 内の特定の IP アドレスへ転送する機能です。                                               |

## 4-4 ファイアウォール設定

ルータを宛先とするパケットに対するフィルタリング設定を行う「受信パケット」画面とルータを通過するパケットに対するフィルタリング設定を行う「通過パケット」画面があります。

図 4-4 ネットワーク設定-ファイアウォール設定画面

表 4-4 に、各設定項目の説明を記載します。(受信パケット画面、通過パケット画面共通です。)

表 4-4 ネットワーク設定-ファイアウォール設定項目

| 設定項目      | 説明                                                                                                                                                        |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| アクション     | 設定された項目に対しての動作を選択してください。<br>「許可」：パケットの受信/通過を許可します。<br>「破棄」：パケットを破棄します。                                                                                    |
| プロトコル     | ファイアウォール対象とするプロトコルを選択してください。<br>「TCP」：TCP プロトコルに対してファイアウォールを設定します。<br>「UDP」：UDP プロトコルに対してファイアウォールを設定します。<br>「TCP+UDP」：TCP、UDP 両方のプロトコルに対してファイアウォールを設定します。 |
| 対象インタフェース | ファイアウォール対象のインタフェースを選択します。<br>以下のインタフェースが指定可能です。<br>「LAN1」、「LAN2」、「WiMAX」                                                                                  |
| 送信元アドレス   | ファイアウォール対象とする送信元の IP アドレスを設定します。                                                                                                                          |
| 送信元ポート    | ファイアウォール対象とする送信元のポートを設定します。“:”(コロン)を使用して範囲指定が可能です。<br>“0:65535”を設定すると任意のポートとなります。                                                                         |
| 送信先アドレス   | ファイアウォール対象とする送信先の IP アドレスを設定します。                                                                                                                          |
| 送信先ポート    | ファイアウォール対象とする送信先のポートを設定します。“:”(コロン)を使用して範囲指定が可能です。<br>“0:65535”を設定すると任意のポートとなります。                                                                         |
| 操作        | 「適用」を押下すると設定を適用します。<br>「取消し」を押下すると設定を削除します。<br>「↑」「↓」を押下すると設定の優先順を変更します。                                                                                  |

#### 4-4-1 受信パケットのデフォルト設定

下記以外の受信パケットは「破棄」設定となっています。

- ・LAN1 から受信したパケット
- ・LAN2 から受信したパケット
- ・ICMP、DNS パケット
- ・UDP ポート番号 2984(OMA-DM)パケット
- ・NTP、IPsec に関するパケット(設定がある場合のみ)
- ・その他、本装置が送信したパケットに対する応答パケット

#### 4-4-2 通過パケットのデフォルト設定

下記以外の通過パケットは「破棄」設定となっています。

- ・LAN1 から受信したパケット
- ・LAN2 から受信したパケット
- ・IPsec に関するパケット(設定がある場合のみ)
- ・その他、本装置に接続した機器が送信したパケットに対する応答パケット

## 4 - 5 IPsec 設定

IPsec の設定を行います。

### IPsec設定

IPsecの設定を行います。

ピアIPアドレスに0.0.0.0以外のIPアドレスが設定されると接続を行います。

---

トンネルインタフェース: LAN1 ▼

tunnel 1

ID: address ▼

ピアID: address ▼

ピアIPアドレス: 211.129.101.217

NAT Traversal機能: ON ▼

暗号化アルゴリズム: AES ▼

認証アルゴリズム: MD5 ▼

事前共有鍵(PSK): cisco

IKEバージョン: IKEv1 ▼

EXモード: main ▼

有効期間(秒): 28800

トンネルIPアドレス: 0.0.0.0

トンネルプレフィックス長: /24 (255.255.255.0) ▼

☒ GREを使用する

GRE経路IPアドレス: 192.168.3.0

GRE経路プレフィックス長: /24 (255.255.255.0) ▼

プロトコル番号: 47

Remove

Add

設定保存

図 4-5 ネットワーク設定-IPsec 設定画面

表 4-5 に、各設定項目の説明を記載します。

**表 4-5 ネットワーク設定-IPsec 設定項目**

| 設定項目                      | 説明                                                                                                                                                                                 |
|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| トンネルインタフェース               | トンネルするインタフェースを下記から選択します。<br>・LAN1<br>・LAN2<br>・Loopback0                                                                                                                           |
| トンネル <i>N</i>             | トンネル <i>N</i> の設定を行います。 <i>N</i> は 1～16 です。<br>トンネルの設定は 1 から順番に設定してください。                                                                                                           |
| ID                        | ID を設定します。<br>ID の種別は「address」「fqdn」「user_fqdn」から選択してください。<br>「address」を指定する場合 ID は省略可能です。省略時はトンネルインタフェースの IP アドレスが使用されます。<br>「fqdn」または「user_fqdn」を指定する場合は、ホスト名をテキストボックスに設定してください。 |
| ピア ID                     | ピア ID を設定します。<br>ピア ID の種別は「address」「fqdn」「user_fqdn」から選択してください。<br>「address」を指定する場合 ID は省略可能です。省略時はピア IP アドレスが使用されます。<br>「fqdn」または「user_fqdn」を指定する場合は、ホスト名をテキストボックスに設定してください。     |
| ピア IP アドレス                | ピアの IP アドレスを設定します。0.0.0.0 以外の IP アドレスが設定されると接続を試みます。                                                                                                                               |
| NAT Traversal 機能          | NAT Traversal 機能を使用するかどうかを選択します。<br>「ON」：NAT Traversal 機能を使用します。<br>「FORCE」：NAT Traversal 機能を強制使用します。                                                                              |
| 暗号化アルゴリズム                 | 暗号化アルゴリズムを選択します。                                                                                                                                                                   |
| 認証アルゴリズム                  | 認証アルゴリズムを選択します。                                                                                                                                                                    |
| 事前共有鍵(PSK)                | 事前共有鍵を設定します。                                                                                                                                                                       |
| IKE バージョン                 | IKE (Internet Key Exchange) のバージョンを選択します。                                                                                                                                          |
| EX モード                    | Exchange モードを選択します。                                                                                                                                                                |
| 有効期間(秒)                   | 有効期間を設定します。                                                                                                                                                                        |
| トンネル IP アドレス <sup>1</sup> | ピアのトンネル IP アドレスを設定します。WARV-2 ではトンネルインタフェースで指定したインタフェースがトンネルされます。                                                                                                                   |
| トンネルプレフィックス長 <sup>1</sup> | ピアのトンネルネットワークプレフィックス長を設定します。                                                                                                                                                       |
| GRE を使用する                 | GRE を使用する場合にチェックを ON にしてください。                                                                                                                                                      |

|                             |                                                                           |
|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| GRE 経路 IP アドレス <sup>1</sup> | ピアの GRE 経路 IP アドレスを設定します。WARV-2 ではトンネルインタフェースで指定したインタフェースが GRE でトンネルされます。 |
| GRE 経路プレフィックス長 <sup>1</sup> | ピアの GRE 経路ネットワークプレフィックス長を設定します。                                           |
| プロトコル番号                     | プロトコル番号を設定します。                                                            |

※WARV-2 では、いくつかのパラメータは固定値また、いくつかのパラメータは Phase1、Phase2 で同じ値を使用しております。

Phase1 :

DH(Diffie-Hellman)グループはグループ 2(1024bit)固定となっています。

Phase2 :

暗号化アルゴリズム : Phase1 と同じものを使用します。

認証アルゴリズム : Phase1 と同じものを使用します。

有効期限 : 60 分

---

<sup>1</sup> トンネル IP アドレスが 0.0.0.0 の場合、トランスポートモードとなります。GRE 経路 IP アドレス/サブネットマスクおよびトンネル IP アドレス/サブネットマスクを両方設定しないようにしてください。

# 5 ルート設定

スタティックルートの設定を行います。

## ルート設定

ルート設定を行います。

☐ スタティックルートの設定

IPアドレス:

プレフィックス長:

/0 (0.0.0.0)

ゲートウェイ:

メトリック:

インタフェース:

LAN2

設定適用

リセット

ルーティングテーブル表示

スタティックルーティングテーブル:

| 送信先アドレス     | プレフィックス長     | ゲートウェイ  | メトリック | インタフェース | 選択                       |
|-------------|--------------|---------|-------|---------|--------------------------|
| 192.168.4.0 | 24 (255.255. | 0.0.0.0 | 1     | gre1    | <input type="checkbox"/> |

削除

全て削除

リセット

図 5-1 ルート設定画面

表 5-1 に、各設定項目の説明を記載します。

表 5-1 ルート設定項目

| 設定項目         | 説明                                                                                           |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| スタティックルートの設定 | チェックするとスタティックルートの設定が有効になります。                                                                 |
| IP アドレス      | スタティックルーティングテーブルに追加する IP アドレスを指定します。                                                         |
| プレフィックス長     | スタティックルーティングテーブルに追加するネットワークプレフィックス長を指定します。                                                   |
| ゲートウェイ       | スタティックルーティングテーブルに追加するゲートウェイを指定します。<br>インタフェースが GRE トンネル 1～16 の場合、ゲートウェイには 0.0.0.0 を指定してください。 |
| メトリック        | スタティックルーティングテーブルに追加するメトリックを指定します。<br>1～15 の値を指定してください。                                       |
| インタフェース      | LAN1、LAN2、WiMAX、GRE トンネル 1～16 から選択してください。                                                    |

スタティックルーティングテーブルの最大数は、200 エントリです。

## 6 監視

### 6 - 1 PING 監視設定

指定 IP アドレスに対し一定間隔で PING を送信し、パケットロスおよび RTT のしきい値を超えた場合に行うアクションを指定します。

#### Ping 監視機能設定

指定 IP アドレスに対し一定間隔で PING を送信し、パケットロスおよび RTT のしきい値を超えた場合に行うアクションを指定します。

|                  |                                      |
|------------------|--------------------------------------|
| IPアドレス:          | <input type="text" value="0.0.0.0"/> |
| 監視間隔:            | <input type="text" value="600"/> 秒   |
| PING 連続送信回数:     | <input type="text" value="4"/> 回     |
| PING 送信間隔:       | <input type="text" value="1"/> 秒     |
| PING 受信待ちタイムアウト: | <input type="text" value="10"/> 秒    |

[監視条件1] ☐ 有効にする

監視対象:   %

しきい値の判定方法

☐ 過去 N 回連続で条件を満たした時のみ真とする 回数:

アクション:

[監視条件2] ☐ 有効にする

監視対象:   %

しきい値の判定方法

☐ 過去 N 回連続で条件を満たした時のみ真とする 回数:

アクション:

図 6-1 監視-PING 監視機能設定画面

表 6-1 に、各設定項目の説明を記載します。

**表 6-1 監視-PING 監視機能設定項目**

| 設定項目                  | 説明                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| IP アドレス               | PING を送信する IP アドレスを設定します。                                                                                                                                                                                             |
| 監視間隔                  | PING 監視を行う間隔を設定します。<br>1～3600 の範囲で設定してください。                                                                                                                                                                           |
| PING 連続送信回数           | PING を連続で送信する回数を設定します。<br>1～10 の範囲で設定してください。                                                                                                                                                                          |
| PING 送信間隔             | PING を送信する間隔を設定します。                                                                                                                                                                                                   |
| PING 受信待ちタイムアウト       | PING 受信の際、タイムアウトする時間を設定します。                                                                                                                                                                                           |
| 監視条件 1～10<br>有効にする    | チェックを入れた監視条件を有効にします。                                                                                                                                                                                                  |
| 監視対象                  | 監視対象、および監視方法を設定します。<br>対象、方法は最大 10 組まで設定できます。<br><br>監視対象：<br>「パケットロス」：PING の応答が時間内に到着しなかったロス率です。<br>「RTT」：PING の応答時間の平均値です。<br>方法：<br>設定した数値より「上回った時」「下回った時」「以上」「以下」のいずれかを指定できます。                                    |
| AND/OR                | 監視対象に複数の判定を設定した際に全ての条件を満たすか、一つでも条件を満たせばいいかを AND/OR で指定します。                                                                                                                                                            |
| しきい値の判定方法             | アクションの実行条件を指定します。<br><br>「真に変わった時のみアクションする」：前回の判定が偽、今回の判定が真のときのみアクションを実行します。<br>「真のとき毎回アクションする」：前回の判定に関わらず、今回の判定が真のとき毎回アクションを実行します。                                                                                   |
| 過去 N 回連続で条件を満たした時真とする | しきい値の判定方法が、過去 N 回連続で条件を満たした場合にのみ真として扱うようになります。                                                                                                                                                                        |
| アクション                 | しきい値を超えた場合に実行するアクションを設定します。<br>最大 10 種類まで設定できます。<br><br>「SNMP トラップ送信」：SNMP トラップを送信します。入力テキストボックスに、送信したいトラップ ID を入力します。<br>SNMP トラップの送信先は、プロセス管理画面の SNMP マネージャ 1、SNMP マネージャ 2 の設定に基づきます。<br>「コマンドを実行」：入力されたコマンドを実行します。 |

# 7 管理

## 7-1 プロセス監視設定

プロセスの起動確認・停止/起動を行います。

### プロセス管理機能設定

プロセスの起動確認・停止/起動を行います。

TELNETサーバは 停止中 です。

FTPサーバは 停止中 です。

SSHサーバは 起動中 です。

ユーザ名:

パスワード:

SNMPエージェントは 停止中 です。

SNMPマネージャ1:

IPアドレス:  コミュニティ名:

SNMPマネージャ2:

IPアドレス:  コミュニティ名:

図 7-1 管理-プロセス管理機能設定画面

表 7-1 に、各設定項目の説明を記載します。

表 7-1 管理-プロセス管理機能設定項目

| 設定項目        | 説明                                                                    |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------|
| TELNET サーバ  | TELNET サーバを起動する場合は「起動」を、停止する場合は「停止」を押下してください。                         |
| FTP サーバ     | FTP サーバを起動する場合は「起動」を、停止する場合は「停止」を押下してください。                            |
| SSH サーバ     | SSH サーバを起動する場合は「起動」を、停止する場合は「停止」を押下してください。                            |
| ユーザ名        | TELNET、FTP、SSH で使用するユーザ名を設定してください。<br><b>※工場出荷時は「artiza」設定されています。</b> |
| パスフレーズ      | SSH で使用するパスフレーズを設定してください。<br><b>※工場出荷時は「networks」が設定されています。</b>       |
| SNMP エージェント | SNMP エージェントを起動する場合は「起動」を、停止する場合は「停止」を押下してください。                        |
| IP アドレス     | SNMP マネージャの IP アドレスを設定してください。                                         |
| コミュニティ名     | SNMP マネージャのコミュニティ名を設定してください。                                          |

## 7-2 NTP・定期コマンド実行設定

NTP (Network Time Protocol) による時刻同期および、定期コマンド実行の設定を行います。

**NTP**  
**定期コマンド実行設定**

時刻、定期コマンド実行の設定を行います。

NTPサーバ:

☒ 定期コマンド実行を有効にする

実行時刻: 04 時 00 分

☐ 一日一回

☒ 週一回

図 7-2 管理-NTP 設定画面

表 7-2 に、各設定項目の説明を記載します。

表 7-2 管理-NTP 設定項目

| 設定項目           | 説明                                                                       |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------|
| NTP サーバ        | NTP サーバの IP アドレス、またはドメインを設定してください。<br>NTP サーバのデフォルト値は、ntp.nict.jp となります。 |
| 定期コマンド実行を有効にする | 定期コマンド実行を有効にする場合、チェックします。                                                |
| 定期コマンド         | 任意のコマンドを実行します。                                                           |
| 実行時刻           | 定期実行する間隔、時刻を設定します。                                                       |

## 7-3 ログ機能設定

システムログの保存方法を設定します。また、システムログの閲覧、およびダウンロードを行います。

図 7-3 管理-ログ機能設定画面

表 7-3 に、各設定項目の説明を記載します。

表 7-3 管理-ログ機能設定項目

| 設定項目        | 説明                                                                                                                           |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| システムログの保存方法 | システムログの保存方法を選択します。<br>「ローカルに保存する」：本製品内にログを保存します。<br>「syslog サーバを有効にする」：指定された IP アドレスのサーバへログを保存します。                           |
| ログレベル       | 保存するログのログレベルを指定します。<br>指定されたログレベル以上のレベルのログを保存します。                                                                            |
| システムログ表示    | 行数を指定して「適用」を押下すると、テキストエリアにログが出力されます。<br>「ダウンロード」を押下するとシステムログをダウンロードします。<br>1000 行適度でご使用ください。すべてのログの確認が必要な場合はダウンロードを使用してください。 |

## 7-4 ファームウェアバージョンアップ—ファイル名指定

ファイル名指定によるファームウェアのバージョンアップを行います。

### ファイル名指定 バージョンアップ

ファイル名指定によるファームウェアのバージョンアップを行います。

アップデート中は、電源を切ったりケーブルを抜いたりしないでください。

---

Firmware Version: v2.0.0-66

ファイル名:  ファイルが選択されていません。

---

### ダウンロードサイト指定 バージョンアップ

ダウンロードサイト指定による自動ファームウェアバージョンアップの設定を行います。

---

☐ ファームウェア自動更新を有効にする

ダウンロードサイト:

00 時 00 分

アップロード時刻: ☐ 一日一回 ☒ 週一回

図 7-4 管理-ファームウェアバージョンアップ—ファイル名指定画面

表 7-4 ファームウェアバージョンアップ—ファイル名指定画面

| 設定項目             | 説明                                                |
|------------------|---------------------------------------------------|
| Firmware Version | インストールされているファームウェアのバージョンを表示します。                   |
| ファイル名            | 参照ボタンを押下により表示されるファイル選択ダイアログから選択されたファイルのパスが表示されます。 |

## 7-5 ファームウェアバージョンアップーダウンロードサイト指定

指定したダウンロードサイトを定期的にチェックし、バージョンに差異がある場合、自動的にファームウェアバージョンアップを行います。

### ダウンロードサイト指定 バージョンアップ

ダウンロードサイト指定による自動ファームウェアバージョンアップの設定を行います。

---

☒ **ファームウェア自動更新を有効にする**

ダウンロードサイト:

03 **時** 00 **分**

アップロード時刻: ☐ 一日一回

☒ 週一回

図 7-5 管理-ファームウェアバージョンアップーダウンロードサイト指定指定画面

表 7-5 ファームウェアバージョンアップーダウンロードサイト指定画面

| 設定項目              | 説明                                                                                         |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| ファームウェア自動更新を有効にする | ファームウェア自動更新を有効にする場合にチェックを ON にしてください。                                                      |
| ダウンロードサイト         | ダウンロードサイト URL を設定します。                                                                      |
| アップロード時刻          | ダウンロードサイトに更新用ファームウェアが登録されているか確認を行う周期を設定してください。ダウンロードサイトに更新用ファームウェアが登録されている場合はアップデートを実行します。 |

指定したダウンロードサイトのディレクトリ配下にバージョンファイル(Version.txt)とファームウェアファイルを配置する必要があります。

バージョンファイル(Version.txt)のフォーマットは以下のとおりです。

| 行数     | 内容                                                                                                                    |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 行目   | バージョン: <i>vM.m.n-b</i><br><i>M</i> : メジャーバージョン<br><i>m</i> : マイナーバージョン<br><i>n</i> : バグフィックスバージョン<br><i>b</i> : ビルド番号 |
| 2 行目   | ファイル名                                                                                                                 |
| 3 行目以降 | 任意                                                                                                                    |

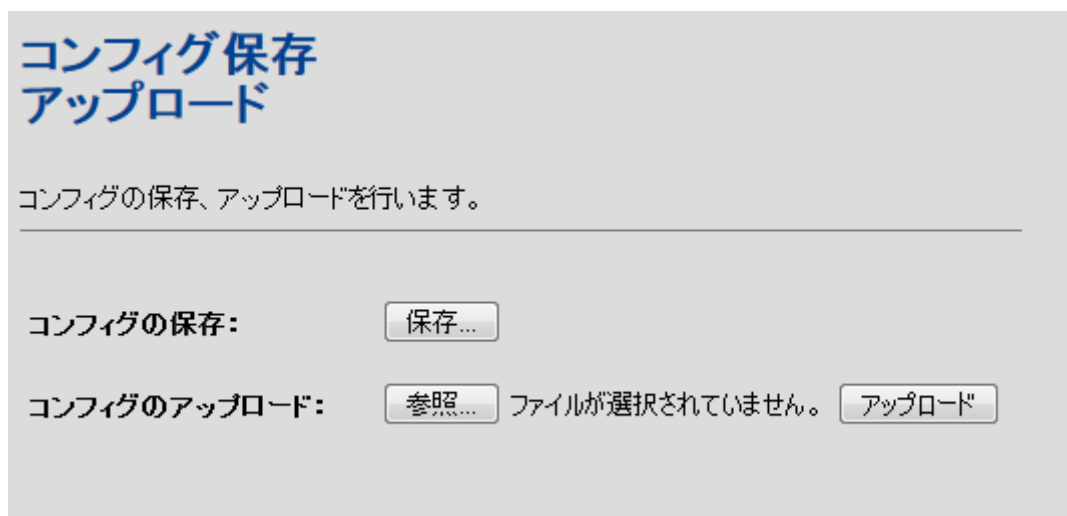
例)

```
v2. 0. 1-28
warv2pkg_v2. 0. 1-28. atzw2
以降は任意 ※必ず 2 行以上設定してください。
リリース日 : 2015/04/20

Copyright (c) Artiza Networks, Inc., 2015
```

## 7-6 コンフィグ保存・アップロード

設定されているコンフィグの保存、保存したコンフィグのアップロードを行います。



コンフィグ保存  
アップロード

コンフィグの保存、アップロードを行います。

---

コンフィグの保存:

コンフィグのアップロード:  ファイルが選択されていません。

図 7-6 管理-コンフィグ保存・アップロード画面

表 7-6 に、各設定項目の説明を記載します。

表 7-6 管理-コンフィグ保存・アップロード画面

| 設定項目     | 説明                           |
|----------|------------------------------|
| コンフィグの保存 | 現在のコンフィグをダウンロードし保存します。       |
| アップロード   | 指定したコンフィグファイルをアップロードし再適用します。 |

## 7-7 ユーザ・パスワード変更

WEB 設定画面のユーザ名、パスワードの設定、変更を行います。

図 7-7 管理-ユーザ・パスワード変更画面

表 7-7 に、各設定項目の説明を記載します。

表 7-7 管理-ログ機能設定項目

| 設定項目         | 説明                               |
|--------------|----------------------------------|
| ユーザ名         | WEB 設定画面の操作を行うためのログインユーザ名を指定します。 |
| 新しいパスワード     | パスワードを設定します。                     |
| 新しいパスワード(確認) | 上項目で指定したパスワードと同一の入力を行ってください。     |

## 7-8 再起動

再起動を行います。

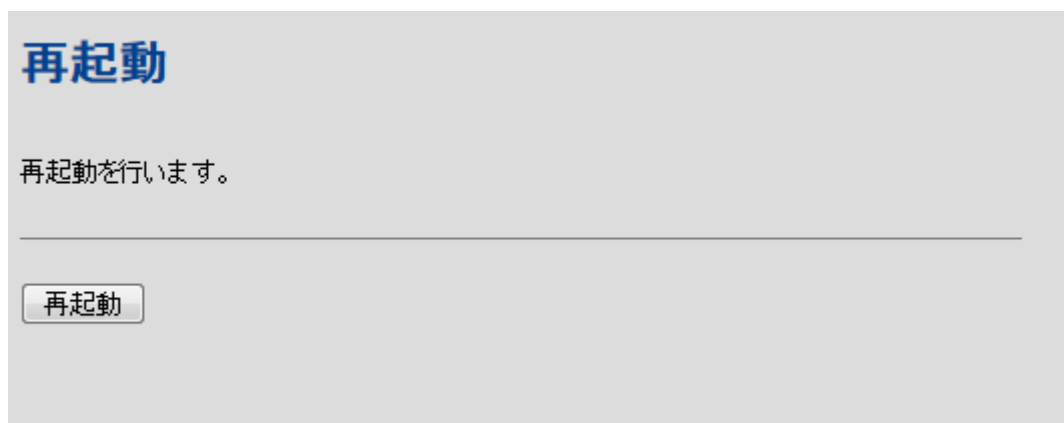


図 7-8 管理-再起動画面

## 7-9 出荷時設定に戻す

設定全てを、出荷時の状態に復旧します。

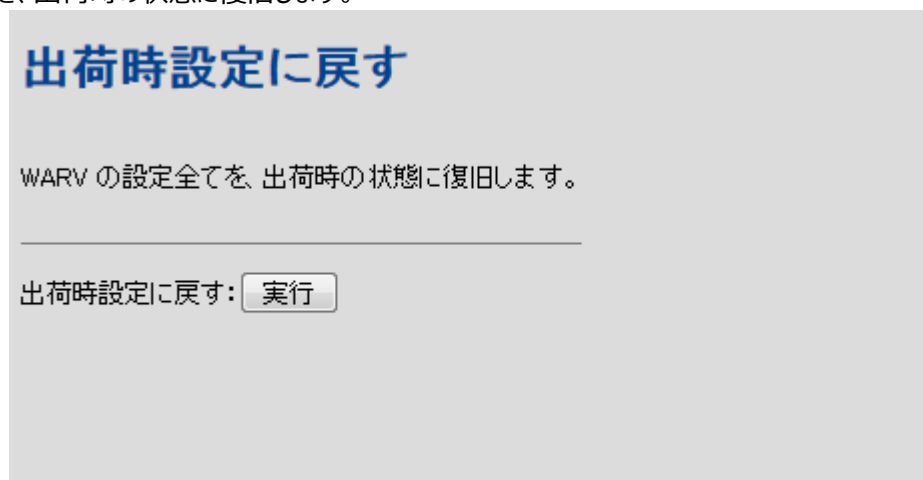


図 7-9 管理-出荷時設定に戻す画面

# 8 付録 1

## 8-1 WARV-2 スペック

表 8-1 WARV-2 スペック

| 項目              |       | 仕様                                                                                                           |
|-----------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| WiMAX           | 方式    | IEEE802.16e-2005 (Mobile WiMAX Wave2)                                                                        |
|                 | 周波数   | 2595MHz ~ 2625MHz/10MHz                                                                                      |
| WiMAX2+         | 方式    | WiMAX Release2.1 AE                                                                                          |
|                 | 周波数   | 2625MHz ~ 2645MHz/20MHz                                                                                      |
| VPN             | IPsec | 暗号化アルゴリズム:3DES, AES、<br>認証アルゴリズム: MD5, SHA-1、IPsec Gateway / NAT Traversal、<br>GRE over IPsec、<br>最大 16 トンネル |
| アドレス変換/ファイアウォール |       | NAT/NAPT                                                                                                     |
| DHCP            |       | DHCP サーバおよびクライアント                                                                                            |
| 管理機能            |       | HTTP/HTTPS サーバ、TELNET サーバ、FTP サーバ、SSH サーバ、SNMP<br>エージェント                                                     |
| ログ機能            |       | SYSLOG 最大 500MB を内蔵 FLASH メモリに保存、サーバを設定可能                                                                    |
| NTP             |       | NTP クライアントによる時刻同期                                                                                            |
| 監視機能            |       | Ping 監視                                                                                                      |
| Ethernet        |       | 10/100BASE-T Auto MDI/MDIX×2 ポート                                                                             |
| USB             |       | TypeA(USB 1.0/2.0 ホスト)×2 ポート                                                                                 |
| SIM CARD Slot   |       | 1 個                                                                                                          |
| COM Port        |       | 1 個                                                                                                          |
| LED             |       | 2 個                                                                                                          |
| 電源              |       | AC アダプタ                                                                                                      |
| 消費電流            |       | 1500mA 以下                                                                                                    |
| 筐体サイズ           |       | 182mm (W) × 167.6mm (D) × 40mm (H)<br>※ ただし、アンテナ、スタンド等の突起物を含まず                                               |
| 重量              |       | 約 1200g                                                                                                      |
| 環境条件            |       | 温度: -20~60℃ 湿度: 5~95%                                                                                        |
| 設置方法            |       | 机上設置 (縦置き不可)<br>壁掛け                                                                                          |

## 8 - 2 WiMAX2+モジュール

本製品の WiMAX2+モジュールは下記の製品を使用しております。

|          |                           |
|----------|---------------------------|
| メーカー名/型番 | 株式会社シンセイコーポレーション/MTE-N100 |
|----------|---------------------------|

## 9 その他

---

### ■ お問合せについて

- パソコンの設置や操作方法などについてのお問合せは、各パソコンメーカーのサポートセンターなどへお願いいたします。
- 回線接続の条件などについてのお問合せは、ご契約のプロバイダにお問合せをお願いいたします。

### ■ 本製品の輸送時のお取扱いについて

故障や解約などで、本製品を返却する際には、本製品一式(添付品含む)をお送りください。また、輸送時の破損を防ぐために、本製品の箱・梱包材をご使用いただくか、またはエアキャップなどの緩衝材に梱包してください。

## ■ 本製品で使用しているソフトウェアについて

本製品は、セキュリティ確保のため、自動設定時に通信を暗号化しています。

通信の暗号化には、OpenSSL プロジェクトで作成された OpenSSL Toolkit ソフトウェアを使用しています。

OpenSSL Toolkit ソフトウェアは世界で広く使用されており、ライセンス契約を順守することによって無料で使用できます。

以下に OpenSSL Toolkit のライセンス規約(原文)を記載します。

なお、本製品のマニュアルなどで記載されている通常の使用においては、ライセンス規約に違反することはありません。

### OpenSSL License

Copyright© 1998 – 2003 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms. With or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice. This list of conditions and the following Disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of condition and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning feature or use of this software must display the following acknowledgment:  
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit."  
(<http://www.openssl.org/>)
4. The name "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior Written permission. For written permission. Please contact [openssl-core@openssl.org](mailto:openssl-core@openssl.org).
5. Product derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may OpenSSL appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit."  
(<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE Open SSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED, IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE..

This product includes cryptographic software written by Eric Young ([easy@cryptsoft.com](mailto:easy@cryptsoft.com)) This product software  
Written by Tim Hudson ([tjh@cryptsoft.com](mailto:tjh@cryptsoft.com))

### Original SSLeay License

Copyright® 1995-1998 Eric Young ([easy@cryptsoft.com](mailto:easy@cryptsoft.com))

All right reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young ([easy@cryptsoft.com](mailto:easy@cryptsoft.com)).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code

found in this distribution, be it the RC4, RSA.

It has, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson ([tjh@cryptsoft.com](mailto:tjh@cryptsoft.com)).

Copyright remains Eric Young's. And as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning feature or use of this software must display the following acknowledgement:

"This product includes cryptographic software written by Eric Young (easy@cryptsoft.com)"The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

"This product includes software written by Tim Hudson ([tjh@cryptsoft.com](mailto:tjh@cryptsoft.com))"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The license and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed, i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution license [including the GNU Public License.]

WIDE Project

Copyright © 1995-1997 Akihiro Tominaga

Copyright © 1995-1997 WIDE Project

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation is hereby granted. Provided the following conditions are satisfied

1. Both the copyright notice and this permission notice appear in all copies of the software, derivative works or modified version, and any portions

Thereof, and that both notices appear in supporting documentation.

2. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by WIDE Project and its contributors.

3. Neither the name of WIDE Project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE DEVELOPER ``AS IS'' AND WIDE PROJECT DISCLAIMS ANY LIABILITY OF ANY KIND FOR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE USE OF THIS SOFTWARE. ALSO, THERE IS NO WARRANTY IMPLIED OR OTHERWISE, NOR IS SUPPORT PROVIDED.

## LICENSE

The Copyright Holder of this software, including all accompanying documentation ("Software"), hereby grants, royalty free and for any purpose, permission to use, copy, modify and prepare derivative works therefrom, distribute, publish, sublicense and all sell copies of the Software and to permit persons to whom the Software is furnished to do the same, all subject to the following conditions

1. The complete text of the following notices shall be reproduced on each copy or substantial copy of the Software in a location readily viewable to users of the Software:

## NOTICE

Copyright © (c) Ericsson, IBM, Lotus, Matsushita Communication Industrial Co., Ltd., Motorola, NOKIA, Openware Systems, Inc., Palm, Inc., Psion,

Starfish Software, Symbian, Ltd (2001-2002).

All Rights Reserved.

Implementation of all or part of any Software may require license under third party intellectual property rights. Including without limitation, patent rights. The Copyright Holders are not responsible and shall not be held responsible in any manner for identifying or failing to identify any or all such third party intellectual property rights.

THIS DOCUMENT AND THE INFORMATION CONTAINED HEREIN ARE PROVIDED ON AN "AS IS" BASIS WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND AND ERICSSON, IBM, LOTUS, MATSUSHITA COMMUNICATION INDUSTRIAL CO, LTD, MOTOROLA, NOKIA, OPENWAVE, PALM INC., PSION, STARFISH SOFTWARE, SYMBIAN AND ALL OTHER SYNCML SPONSORS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING

BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTY THAT THE USE OF THE INFORMATION HEREIN WILL NOT INFRINGE ANY RIGHTS OR ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT SHALL ERICSSON, IBM, LOTUS, MATSUSHITA

COMMUNICATION INDUSTRIAL CO., LTD, MOTOROLA, NOKIA, OPENWAVE, PALM INC., PSION, STARFISH SOFTWARE, SYMBIAN OR ANY OTHER SYNCML SPONSOR BE LIABLE TO ANY PARTY FOR ANY LOSS OF PROFITS, LOSS OF BUSINESS, LOSS OF USE OF DATA, INTERRUPTION OF BUSINESS, OR FOR DIRECT, INDIRECT, SPECIAL OR EXEMPLARY, INCIDENTAL,

PUNITIVE OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND IN CONNECTION WITH THIS DOCUMENT OR THE INFORMATION CONTAINED HEREIN, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH LOSS OR DAMAGE.

## ■ 輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替および外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問合せください。

# 1 0 変更履歴

---

| 版数  | 日付         | 変更内容 | 備考 |
|-----|------------|------|----|
| 1.0 | 2015/05/14 | 初版   |    |